

未来を乗り換えた男 (2018)

TRANSIT

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス SF

製作国 ドイツ/フランス

色彩 Color

時間 102分

初公開日 2019/01/12

公開情報 アルバトロス・フィルム

映倫 G

【解説】

ナチス・ドイツの迫害を逃れてメキシコに亡命した作家アンナ・ゼーガースが1942年に執筆した『トランジット』を、「東ベルリンから来た女」「あの日のように抱きしめて」のクリスティアン・ペッツォルト監督が現代に置き換えて映画化したサスペンス・ドラマ。台頭するファシズムの中で祖国ドイツを追われた男が、南仏マルセイユで繰り広げるサバイバルの行方を、偶然出会ったミステリアスな美女との皮肉な運命とともにサスペンスフルに描き出す。主演は「ハッピーエンド」のフランツ・ロゴフスキ、共演に「婚約者の友人」のパウラ・ベアー。

フランス南部の港町マルセイユ。祖国ドイツを追われた青年ゲオルクは、ドイツ軍が迫るパリからも脱出し、ようやくここに辿り着く。ひょんなことから、パリのホテルで自殺した亡命作家ヴァイデルのトランクを預かったゲオルクは、遺品の書類を利用して彼に成りすまし、船でメキシコへ亡命する計画を立てていた。そんな時、必死で夫を捜す美しい女性と出会い、心奪われる。しかし彼女の夫こそ、亡くなったヴァイデルだったのだが…。

【クレジット】

監督	クリスティアン・ペッツォルト	Christian Petzold	
製作	フロリアン・コールナー・フォン・グストルフ ミヒャエル・ヴェーバー	Florian Koerner von Gustorf Michael Weber	
原作	アンナ・ゼーガース	Anna Seghers	『トランジット』
脚本	クリスティアン・ペッツォルト	Christian Petzold	
撮影	ハンス・フロム	Hans Fromm	
編集	ベッティナ・ボーラー	Bettina Böhler	
音楽	シュテファン・ヴィル	Stefan Will	
出演	フランツ・ロゴフスキ	Franz Rogowski	ゲオルク
	パウラ・ベアー	Paula Beer	マリ
	ゴデーハート・ギーズ	Godehard Giese	
	リリエン・バットマン	Lilien Batman	
	マリアム・ザリー	Maryam Zaree	
	バルバラ・アウア	Barbara Auer	
	マティアス・ブランド	Matthias Brandt	
	ゼバスティアン・フールク	Sebastian Hülk	

エミリー・ドゥ・プレザック
アントワーヌ・オッペンハイム
ユストゥス・フォン・ドナーニー
アレックス・ブレンデミュール
トリスタン・ピュッター

Emilie de Preissac
Antoine Oppenheim
Justus von Dohnanyi
Alex Brendemuhl
Trystan Putter